

# 高野口パイルファブリック展

日時 2009年3月12日(木)～13日(金)  
場所 ラピロス六本木8階 六本木オリベホール  
主催 紀州繊維工業協同組合

織物のまち高野口、産地としての歴史は古く、江戸時代の木綿織物のはじまり、明治になると川上ネルとよばれ飛躍的な発展をとげた。その後、再織をルーツにパイル織物が発展した。用途は広く、インテリア用品、寝具用品、衣料用品、カー用品、化粧パフなどの生活関連用品、新規用途としてフィルター、ペイントローラーなど多岐にわたる。今回の展示では、テキスタイルクリエイターとのコラボレーションによるアパレル&インテリアのイメージサンプルとファブリックをメインに紹介している。

産地企業12社、青野パイル株式会社、井脇織物株式会社、オーヤパイル株式会社、株式会社岡田織物、萱野織物株式会社、杉村繊維工業株式会社、妙中パイル織物株式会社、中野メリヤス工業株式会社、株式会社中矢パイル、日本ハイパイル工業株式会社、松岡織物株式会社、森井織物工場。



記:豊方

# Textile design Surface design 山本清 布・和紙・漆・土によるインテリアサーフェス、デザインワーク展

日時 2009年4月7日～4月28日 11:00～18:30  
場所 銀座ギャラリー女子美

会員の山本清氏の個展が銀座ギャラリー女子美で行なわれました。場所は東京メトロ日比谷線、都営地下鉄東銀座駅より30秒とたいへん行きやすいところです。作品の内容は、今年の4月より女子美術大学大学院客員教授になられたお披露目会的な意味もあり、今迄の古くは30年前のインクジェットのようなスクリーンプリントや2008年にグッドデザイン特別賞(日本商工会議所会頭賞)受賞の阿波和紙の壁紙や作品をプロジェクターで天井に投影しコラボレーションしたものなどバリエーション豊かなもので、今迄の山本清氏の歴史がコンパクトにわかる大変興味深いものでした。



記:豊方